

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年11月19日第151号—

<目次>

●宮前区の街づくりの大問題

◆子どもの未来をひらく川崎集会へのおさそい

▲お知らせコーナー

- ① 11/22 #チェンジ川崎をめざす学習と交流のつどい
- ② 11/23 NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所10周年記念イベント
- ③ 11/26 市議会開会日・第4回市民要求実現アクション
- ④ 11/29 講演会「総選挙の結果と社会保障運動」
- ⑤ 11/29 から京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」
- ⑥ 12/1 第33回子どもの未来をひらく川崎集会
- ⑦ 12/14 ゆめシネマ「シェアの法則」

★編集後記

●宮前区の街づくりの大問題

宮前区では、現宮前区役所・市民館・図書館の存続と鷺沼駅前再開発の見直しを求める住民の運動がねばり強く取り組まれています。

この運動の中心になっている「現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会(略称:宮前区を考える会)」は、川崎市の東急資本と一体になった無謀な計画の見直しを求めて、請願署名運動を進めています。

今回、宮前区を考える会から、チラシと署名用紙の情報提供がありましたので、紹介をします。

福田市政の大問題を鋭く告発しています。

<チラシ「宮前区役所移転・再開発8つの疑問」>

①意味不明な公共施設の移転理由・「総合的判断」、はて？

福田市長は具体的理由も言わずに「総合的判断」で、区役所、市民館、図書館の鷺沼移転を決めました。

現在地は坂が多いから？あれ、鷺沼駅も坂の上じゃないですか？

②とんでもないムダ遣い これって東急さんのため？

現在の区役所、市民館、図書館の建物はあと30年も大丈夫です。

やっぱり、この鷺沼再開発地域への公共施設移転は、東急さんのタワマン売り出しの目玉づくりですか？

③にっちもさっちもいかない再開発建設費用急増の880億円

建設費の高騰で当初計画の500億円が880億円に。

東急の負担増を肩代わりする新たな補助金「立地適正化計画」で、市の負担は当初の150億円から350億円に。

どこまで増える市民の負担？

④へりくつだらけの鷺沼再開発計画

市街地再開発法は、雑多な土地を整理して、道路拡張、公園、公共施設を作るのが目的。

鷺沼再開発は、道路(鷺沼線)を廃止し、桜並木伐採。

東急所有の狭い土地に、図書館、市民館、区役所を押し込める？

⑤破綻している防災体制？

区役所は、区民の命を預かる防災のセンター役。

この区役所を土砂災害警戒区域の鷺沼駅周辺に建設？

警察署、消防署、道路公園センターは、現在地(宮前平)とバラバラで、大災害に対応できますか？

⑥ちっともすすまない 鷺沼駅前再開発事業

鷺沼再開発事業は、コロナ危機に、建築資材高騰。

6年たっても準備組合のまま。果たして出来るの？

⑦ろくでもない道路計画で、危険で大渋滞の道路に

2車線の幅はそのままで4車線にして、接触危険な道路に。

しかも、そのうえ市道鷺沼線は廃止。

市道久末鷺沼線だけでは危険で大渋滞の道路になりませんか？

⑧ほんとうにタワマンのビル風で人は倒れないの？

鷺沼駅前には標高61mの台地。

現在でも駅陸橋の上は恐怖で高齢者が転倒します。

タワマンが出来て、田園都市線の通る谷間に向かって強風が吹けば、人は倒れないの？

<宮前区を考える会が進める署名の請願項目>

1, 防災の観点から、現宮前区役所・消防署・警察署の連携と避難所としての現市民館・図書館の総合的存続を強く求めます。

また、鷺沼駅前再開発地区には、市民館・図書館の分館をつくることをもとめます。

2, 鷺沼駅前再開発事業で、建設費のこれ以上の市税負担をしないことを求めます。

3, 鷺沼駅前再開発地区のタワマンの中低層化を求めます。

[公式ホームページ](#)

◆子どもの未来をひらく川崎集会へのおさそい

子どもの未来をひらく川崎集会事務局のもとに、「もう32名の申し込みが来ました」という嬉しい連絡が入りました。

12月1日に行われる第34回「子どもの未来をひらく川崎集会」(略称:未来集会)の午後分科会「親子クッキング」の担当者からの連絡でした。

今年の未来集会は久しぶりに、公立の高津小学校をお借りすることができました。

子ども向けの分科会も3つ(親子クッキング、読み聞かせ絵本、和太鼓体験)用意し、独自に、はじめて子ども向けチラシをつくり、高津小学校の児童全員に配布してもらった結果、申し込みが殺到したのです。

「子どもの未来をひらく川崎集会」は1991年の2月に、武蔵小杉駅近くで現在は高層マンションになっている中小企業婦人会館で教育学者の丸木正臣さんの講演と、11の分科会で第1回の集会をひらいてから今回で第33回目を迎えることになりました。

途中コロナの影響で3年間ブランクがありましたが毎年川崎市内の学校や施設で、市民、保護者教職員と一緒に集まってこの集会をつくり上げてきました。

毎年、川崎市、教育委員会、各新聞社の後援ももらい実施してきました。

不登校の子どもたちは全国で34万人を超えました。

川崎市では、小学校は1435人で291人の増、中学校は1826人で154人の増となり、増加傾向が止まりません。

また、川崎市の市立学校では170人を超える先生が未配置となり、「これでは学校が持たない」と悲痛な声が聞こえてきます。

今、教育をめぐる様々な問題が山積みです。

そのような中で、地域、家庭、学校がともに力を合わせて子ども達に携わっていく草の根の教育が大切になっており、本集会に対しての期待も高まっています。

午前中はオープニングで地元高津小学校のPTAコーラス、ブラスバンドクラブ、和太鼓クラブの子どもたちの発表があります。

そして、不登校の小中学生が過去最高になっているなか、西野博之さんから「子ども・若者の豊かな成長とは」というテーマでお話をいただきます。

午後からはテーマ別の11の分科会が用意されています。

体育館では出店も用意しており、昼食休憩中にゆっくりお買い物などをしていただければと思います。

保育も実施します。

午前の部の講演中の「子ども広場」も準備しました。

詳細は公式ブログとチラシを参照してください。

第33回子どもの未来をひらく川崎集会

1. 日時 12月1日(日)

午前 10時～12時 オープニング、講演、昼食休憩 12時～13時20分出店あり

午後 13時半～16時 11の分科会(チラシ参照)

2. 場所 川崎市立高津小学校(東急線 高津駅下車5分)

☆資料代 600円(高校生以下無料)

☆上履き持参 ☆保育あり

☆昼食 弁当(600円)100食分用意してあります。

公式ブログ

★お知らせコーナー

③#チェンジ川崎をめざす学習と交流のつどい

11月22日(金)18:30～20:30

会場 エポック中原大会議室

(武蔵中原駅下車3分)

参加無料

主催 川崎民主市政をつくる会 連絡先 市古博一(090-7830-8030)

[詳しくはこちら](#)

④ NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所10周年記念イベント

11月23日(土)16:00～18:00

会場 川崎市国際交流センター

記念講演 市民の電気で社会を変えよう

講師 竹村英明氏(市民電力連絡会会長)

参加無料

連絡先 川岸・川崎合同法律事務所(044-211-0121)

⑤市議会開会日・第4回市民要求実現アクション

第4回市議会の開会日に合わせて、市民要求を市長、市議、市民にアピールします。
また、市民要求の交流の場にもしていきます。

11月26日(火)12:00～13:00

場所 川崎市役所前通路

よびかけ いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会(090-7830-8030・市古)

[詳しくはこちら](#)

⑥講演会「総選挙の結果と社会保障運動」

第31回川崎市社保協定期総会記念講演

11/29(金)14:00～

会場 かわさきゆめホール(JR向河原駅下車5分)

講師 寺尾正之氏(日本医療総合研究所研究・研修委員)

連絡先 川崎市社会保障推進協議会 (090-4829-2414・光野)

⑦京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

11/29(金)～12/8(日)まで全ての席が満席となり、追加公演を決定しました。

12/6(金)15時を追加しました。

詳しくはHPで。

会場:スペース京浜

前売り券:一般 3,500 円、障がい者・学生 2,000 円

当日券:各 500 円増

キャンセル待ちを受け付けます。

関係者、劇団まで直接お問い合わせください。

[公式サイト](#)

[コリッチ・チケット](#)

⑧第33回子どもの未来をひらく川崎集会

12/1(日)10:00～16:00

会場 川崎市立高津小学校

午前 講演会「子ども、若者の豊かな成長とは」講師 西野博之氏(フリースペースたまりば理事長)

午後 11分科会

主催 子どもの未来をひらく川崎集会実行委員会

後援 川崎市/川崎市教育委員会/他

参加費 600 円(高校生まで無料)

連絡先 船津了(044-434-4290)

[詳しくはこちら](#)

⑨ゆめシネマ「シェアの法則」

12/14(土)かわさきゆめホール

小野武彦さん、岩瀬頭子さんのトーク・サイン会があります。

① 9時

アフタートーク・小野・岩瀬サイン会

② 12時

アフタートーク・小野・岩瀬サイン会

③ 15 時

プレトーク・小野。岩瀬

④ 18 時

プレトーク・岩瀬

前売予約:1000 円 当日:1500 円

学生・障がい者 500 円

申込み 044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

★編集後記

TOKYO ハンバーグという劇団の「できないなんていわないで」という芝居を観てきました。

障がい者施設での悲喜こもごも、障がい者たちが演劇に取り組むようになる姿を描きます。

障がい者を扱う演劇はとても難しい。

容姿や、しぐさ、口調をまねることが、障がい者への偏見や、侮辱につながる危険性をはらんでい
るから。

5 人の障がい者が登場しますが、いくつかの障がいの特徴を見事につかんだリアルな演技に驚
嘆。そして、偏見や侮辱など微塵も感じさせない。

演出者、役者たちが、障がい者とまっすぐ向き合っていないとこれほどまでまっすぐに表現す
ることはできないでしょう。

それもそのはず。脚本・演出の大西弘記さんは、横浜桜座に脚本を提供するなどその活動に深く
かかわってきました。

横浜桜座は、“障がいがあってもなくても表現することで輝く為に”という目的で結成された演
劇集団。今年は、12 月に川崎市アートセンターで公演があります。

障がい者スポーツに目を移せば、障がい者がスポーツをやるにはどうしてもお金がかかります。
専用の施設や、介助者の人件費など。障害者スポーツの振興と掛け声は高くとも予算は寂しい限
り。手厚い財政支援が必要です。

「できないなんていわないで」は24日まで。新宿サンモールスタジオで上演中。

詳しくは↓

[TOKYO ハンバーグ](#)

(Y)

☆☆[チェンジかわさき!](#)☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆[チェンジかわさき!](#)☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/mOk73AS3MV9f?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp